

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-505230(P2008-505230A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519654(P2007-519654)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/30 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

C 0 9 D 169/00 (2006.01)

C 0 9 J 169/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 64/30

C 0 9 K 3/10 Z

C 0 9 D 169/00

C 0 9 J 169/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月11日(2008.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 最初に過剰量の有機カーボネートと専ら一級OH基のみを有するポリオールとを反応させ、そのようにして得られる反応生成物 1 mol に基づいて平均OH基濃度が 0.3 mol % 以下のポリマーを調製する工程、

B) エステル交換反応と同時にまたは次に過剰の未転化カーボネートと共に形成された分解産物を除去する工程、および次の工程、

C) そのように形成されたポリマーとそれぞれ一分子あたり少なくとも一つの二級OH基を有する脂肪族ポリオールとを反応させ、存在する全てのOH基の合計に基づいて平均で二級OH基が 5 mol % 以上の生成物を得る工程

による、二級OH基を有し、数平均分子量が 500 g/mol 以上の脂肪族オリゴカーボネートポリオールの製造方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法によって得られる脂肪族オリゴカーボネートポリオール。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の脂肪族オリゴカーボネートポリオールを用いて得られるコーティング、分散体、粘着剤および/またはシーラント。